



# TAC-8 MixEfx

## リファレンスガイド

## はじめに

**TAC-8 MixEfx** は、**ZOOM TAC-8** 専用ミキサーアプリケーションです。コンピューター上から、内蔵ミキサーの設定や、高品質なモニタリング用エフェクトの設定を行うことができます。また、LO-CUTや位相反転、入力レベルを自動的に調節するAUTO GAIN機能に加え、入力信号とコンピューターからの音を再度コンピューターに送るLOOPBACK機能、設定をワンタッチで保存できるMEMORY機能も搭載しています。

## TAC-8 MixEfx をインストール／起動する

### 1. コンピューターに TAC-8 MixEfx をダウンロードする

ZOOMのWEBサイト(<http://www.zoom.co.jp/downloads/>)よりダウンロードできます。

#### HINT

- ・最新のZOOM **TAC-8 MixEfx** は上記WEBサイトからダウンロードできます。
- ・対応している動作環境は次の通りです。  
Mac OS X(10.8.5以降)

### 2. コンピューターに TAC-8 MixEfx をインストールする

インストーラー「TAC-8 MixEfx Installer.pkg」アイコンをクリックして、指示に従って**TAC-8 MixEfx** をインストールします。

### 3. TAC-8 MixEfx を起動する



**TAC-8**とコンピューターをThunderbolt™ケーブルで接続すると自動的に**TAC-8 MixEfx** が起動します。

#### HINT

- ・**TAC-8**とコンピューターの接続方法については、それぞれのオペレーションマニュアルを確認してください。
- ・自動的に起動しない場合は、コンピューターの[アプリケーション]フォルダを開き、[TAC-8 MixEfx]を選択してください。

## 各部の名称／基本的な操作

The screenshot shows the TAC-8 MixEfx software interface. Red boxes highlight several key areas: the INPUT section (top left), the COMPUTER section (top middle), the OUTPUT section (bottom right), and the internal mixer section (bottom left). Red lines connect these boxes to Japanese text instructions on the right side of the page.

INPUTを設定する  
P.5

出力端子ごとの内蔵ミキサーを設定する  
P.7

コンピューターの設定を確認する／  
LOOPBACK機能を使用する／  
CLOCK SOURCEを選択する  
P.6

アップサンプリング機能を設定する  
P.10

設定をメモリーに保存する／  
読み込む  
P.11

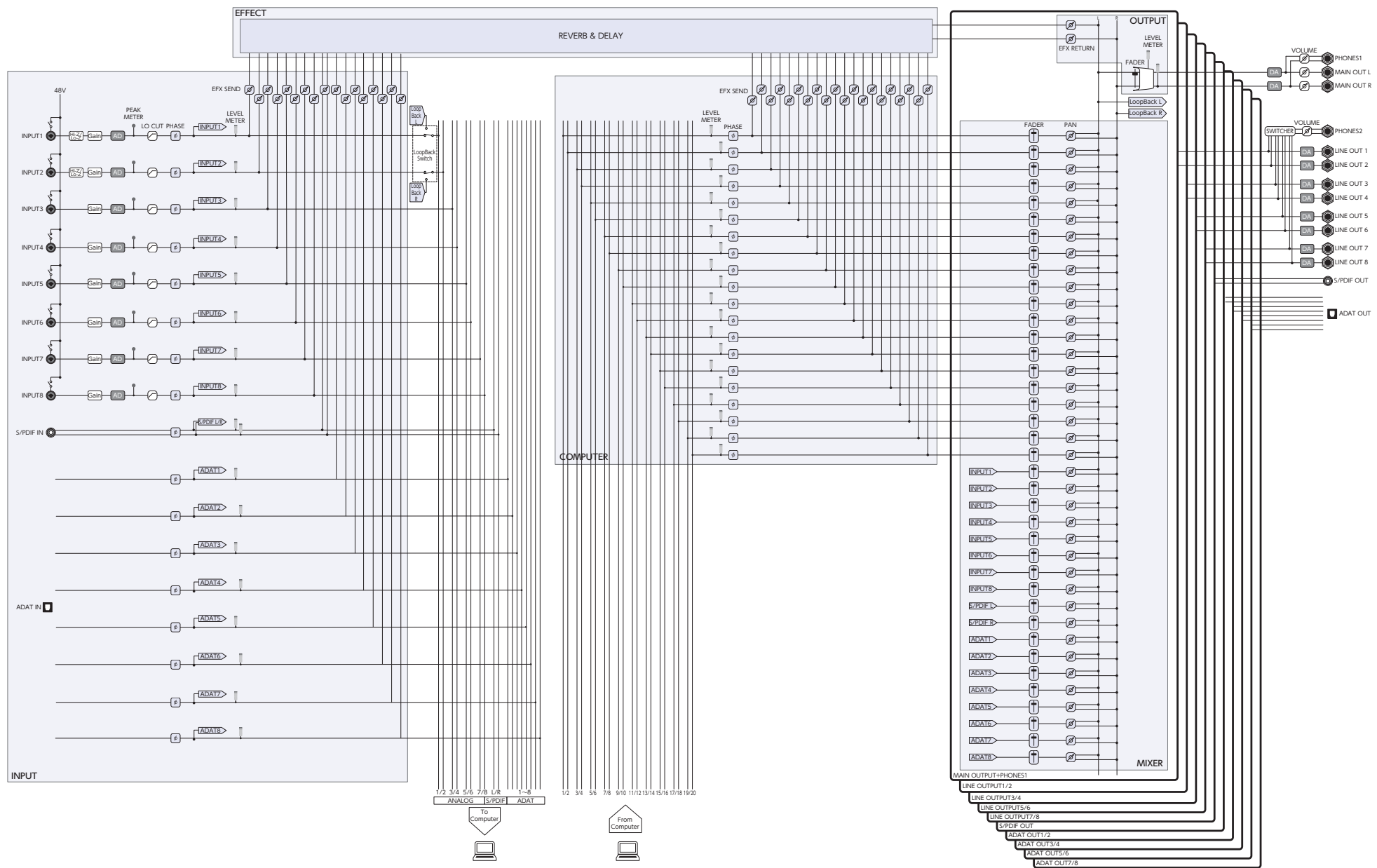
エフェクトを調節する  
P.9

出力レベルを設定する  
P.8

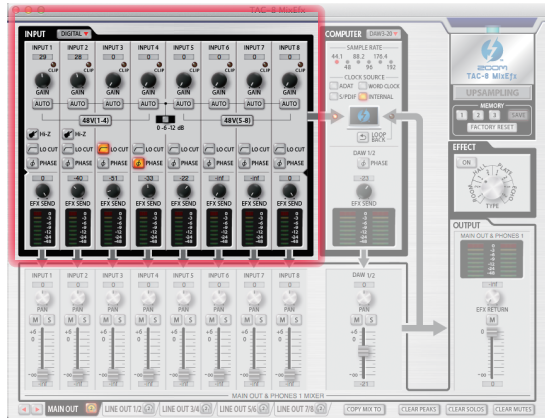
### 基本的な操作

- 各ノブはマウスでクリックして、上下にドラッグすることによって調節できます。
- Shiftキーを押しながらノブを操作すると、細かく値を調節できます。
- 各ノブの数値をマウスでクリックすることによって値を入力することができます。
- 各ボタンはマウスでクリックすると、ON/OFFすることができます。
- サンプリングレートは、[アプリケーション]フォルダー→[ユーティリティ]フォルダを順に開き、「Audio MIDI設定」をクリック後、**TAC-8**を選択することで設定できます。

# TAC-8 のミキサーブロック図



# INPUTを設定する (INPUT)



## デジタル入力を表示する

デジタル入力を表示するには、[DIGITAL] ボタンを押します。  
画面が右に展開して[S/PDIF]、[ADAT1] ~ [ADAT8]が表示されます。



## 入力ゲインを調節する

[GAIN]ノブを回して、[CLIP]インジケータが点灯しないように入力ゲインを調節します。

### NOTE

・ TAC-8 の[GAIN]ノブを操作すると、TAC-8 MixEfx の入力ゲインの設定も自動的に変更されます。



## 自動的にゲインを決める (INPUT1 ~ 8のみ)

最適なゲインを自動的に設定するには、[AUTO]ボタンを押してオーディオ信号を入力します。

## ■自動ゲインの設定

1. 録音レベルの最大値を選択する。



2. 自動ゲインの設定を開始する。



3. オーディオ信号を入力する。

4. 設定を終了する。



### HINT

・ 約3秒入力がないと、点滅が速くなり、自動的に終了します。



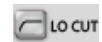
## ファンタム電源を使用する

[48V(1-4)] ボタンまたは[48V(5-8)] ボタンを押して点灯させます。  
ファンタム電源は、INPUT1 ~ 4、5 ~ 8が同時に供給されます。



## Hi-Z 機能を使用する (INPUT1、2のみ)

[Hi-Z] ボタンを押して点灯させます。



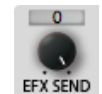
## ローカットフィルターを有効にする

[LO CUT]ボタンを押して点灯させます。  
カットオフ周波数は、80Hzです。



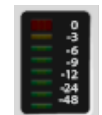
## 入力位相を反転させる

[PHASE]ボタンを押して点灯させます。



## エフェクトレベルを調節する

[EFX SEND]ノブを回して、エフェクトレベルを調節します。  
-infにするには、ダブルクリックします。(→P.9 [エフェクトを調節する])



## 入力レベルを確認する

入力レベルを、レベルメーターで確認します。  
0dB(最大値)を超えると、メーターの最上部が赤く点灯します。消灯するには、メーターを押します。

# コンピュータの設定を確認する / LOOPBACK機能を使用する / CLOCK SOURCEを選択する(COMPUTER)



## ミックスした信号をコンピューターに送る

TAC-8 の各入力とコンピューターの入力をミックスして、再びコンピューターへ送ります。  
最終ミックスした信号を録音したい場合には、[LOOPBACK]ボタンを押して点灯させます。

### NOTE

- ・ LOOPBACK機能は、MAIN OUTPUTミキサーのみ有効です。
- ・ 信号はINPUT1、INPUT2としてコンピューターに送られます。



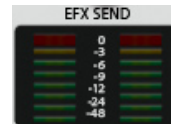
## 入力位相を反転させる

[PHASE]ボタンを押して点灯させます。



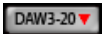
## エフェクトレベルを調節する

[EFX SEND]ノブを回して、エフェクトレベルを調節します。  
-infにするには、ダブルクリックします。(→P.9「エフェクトを調節する」)



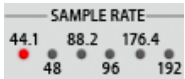
## コンピューターからの入力レベルを確認する

コンピューターからの入力レベルを、レベルメーターで確認します。  
0dB(最大値)を超えると、メーターの最上部が赤く点灯します。  
消灯するには、メーターを押します。



## COMPUTERの表示を拡張する

COMPUTERの表示を拡張するには、[DAW3-20] ボタンを押します。  
画面が右に展開して [DAW3/4] ~ [DAW19/20] が表示されます。

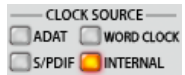


## サンプリングレートを確認する

サンプリングレートを確認します。  
点灯している箇所が、TAC-8 が動作しているサンプリングレートになります。

### NOTE

サンプリングレートが88.2、96を示しているときはADAT5～8、サンプリングレートが176.4、192を示しているときはADAT3～8が使用できなくなります。



## CLOCK SOURCEを設定する

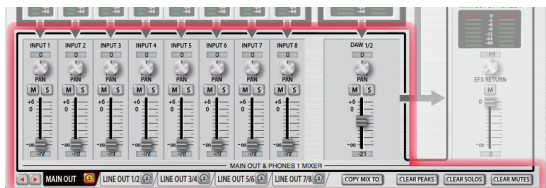
信号を同期するためのクロックソースを選択します。[INTERNAL]、[ADAT]、[S/PDIF]、[WORD CLOCK] ボタンを押して点灯させます。

### NOTE


外部デジタル機器と同期できない場合、CLOCK SOURCEインジケータが点滅します。このとき、TAC-8は内蔵クロックで動作しています。

# 出力端子ごとの内蔵ミキサーを使用する (MIXER)

TAC-8 は、出力端子ごとにミキサーを設定することができます(→P.4 「TAC-8 のミキサーブロック図」)。例えば、MAIN OUTPUTからの出力と、LINE OUTPUT1/2からの出力を別のミックスバランスで出力することができます。



## 出力端子を切り替える

出カタブをクリックして選択します。  
ウィンドウの幅が狭い場合は、をクリックして表示を切り替えます。



## HEADPHONE2端子に出力を割り当てる

HEADPHONE2端子に割り当てる出力の[OUTPUT] タブでヘッドホンアイコンをクリックします。

### NOTE

割り当てられる出力は[MAIN OUT]、[LINE1/2] ~ [LINE7/8]です。



## S/PDIF、ADATからの入力を制御する

INPUTの[DIGITAL] ボタンを押します。  
画面が右に展開して[S/PDIF]、[ADAT1] ~ [ADAT8]が表示されます。



## COMPUTERからの3チャンネル以降の入力を制御する

COMPUTERの[DAW3-20] ボタンを押します。  
画面が右に展開して[DAW3/4] ~ [DAW19/20]が表示されます。



## 入力信号のパンを調節する

各入力の[PAN] ノブを回して、入力信号のパンを調節します。  
0(center)にするには、ダブルクリックします。  
センターポジションにおけるリダクションはINPUT1 ~ 8、ADAT1 ~ 8のみ-3dBとなります。



## 入力信号をミュートする

入力信号をミュートします。  
ミュートを有効にするには、[M] ボタンを押して点灯させます。



## 1つの入力だけをONにする (SOLO)

選択した入力以外をすべてミュートします。  
SOLOを有効にするには、[S] ボタンを押して点灯させます。

### NOTE

SOLOとMUTEを同時に有効にした場合、MUTEが優先されます。



## 入力信号のレベルを調節する

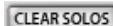
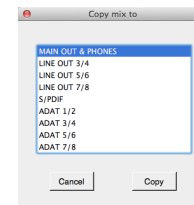
各入力のフェーダーをドラッグして、入力信号のレベルを調節します。  
0dBにするには、ダブルクリックします。



## 選択中の出力のミキサー設定を他の出力のミキサーにコピーする

選択中の出力のミキサー設定を、他の出力にコピーすることができます。

- [OUTPUT] タブの[COPY MIX TO] ボタンを押す。
- 表示されるダイアログでコピー先の出力を選択して、[Copy] ボタンを押す。

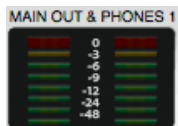


## 全チャンネルのPEAK、SOLO、MUTEを一括で解除する

[CLEAR PEAKS] ボタン、[CLEAR SOLOS] ボタン、[CLEAR MUTES] ボタンをクリックして、全チャンネルのCLIP表示、SOLO、MUTEを一括で解除することができます。

# 出力レベルを設定する(OUTPUT)

OUTPUT切り替えタブで選択しているチャンネルの出力レベルを設定することができます。



## 出力レベルを確認する

OUTPUT/PHONESのレベルを、レベルメーターで確認することができます。  
0dB(最大値)を超えると、メーターの最上部が赤く点灯します。消灯するには、メーターを押します。



## EFFECT RETURNレベルを調節する

[EFFECT RETURN]ノブを回して、出力にミックスするエフェクトリターンレベルを調節します。  
-infにするには、ダブルクリックします。(→P.9「エフェクトを調節する」)



## OUTPUTの出力をミュートする

OUTPUTの出力をミュートします。  
ミュートを有効にするには、[M]ボタンを押して点灯させます。

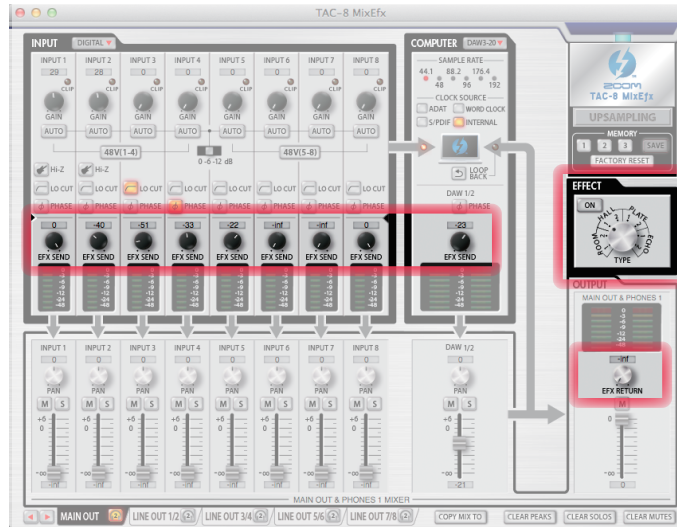


## OUTPUTの音量を調節する

フェーダーをドラッグして、音量を調節します。



# エフェクトを調節する (EFFECT)



## ■エフェクトの調節

1. エフェクトをONにする。

押す



2. エフェクトを選択する。

回す



3. 各入力のEFX SENDを調節する。

回す



4. 各出力のEFX RETURNを調節する。

回す



## ■エフェクトの種類

ROOM1	レコーディングスタジオのエコールームの音響特性をシミュレートしたリバーブです。
ROOM2	ライブハウスの音響特性をシミュレートしたリバーブです。
HALL1	明るい響きのコンサートホールの音響特性をシミュレートしたリバーブです。
HALL2	落ち着いた響きのコンサートホールの音響特性をシミュレートしたリバーブです。
PLATE1	残響時間を短く設定したプレートリバーブのシミュレートです。
PLATE2	残響時間を長く設定したプレートリバーブのシミュレートです。
ECHO1	汎用的に使用できるショートディレイです。
ECHO2	テープエコーのシミュレートです。

### NOTE

- ・エフェクト機能とアップサンプリング機能を同時に使用することはできません。どちらかをONにすると、もう一方はOFFになります。
- ・アップサンプリング機能がONの場合、確認画面が表示されるので、[エフェクトをONにする] ボタンを押します。

# アップサンプリング機能を設定する (UPSAMPLING)



## アップサンプリング機能を有効にする

元のサンプリングレートが44.1kHzや48kHzの場合、内部処理では176.4kHzまたは192kHzとして動作させることができます。

1. [UPSAMPLING]ボタンを押す。

押す



アップサンプリング機能が有効になります。



### NOTE

- ・アップサンプリング機能は44.1/48kHz時のみ有効です。
- ・アップサンプリング機能とエフェクト機能を同時に使用することはできません。どちらかをONにすると、もう一方はOFFになります。
- ・エフェクト機能がONの場合、確認画面が表示されるので、[アップサンプリングをONにする]ボタンを押します。

## アップサンプリング機能を無効にする

1. [UPSAMPLING]ボタンを押す。

押す



アップサンプリング機能が無効になります。



### NOTE

エフェクト機能をONにした場合も、アップサンプリング機能が無効になります。

## 設定をメモリーに保存する／読み込む (MEMORY)



### ■設定の保存

1. 設定の保存を開始する。



2. 点滅しているボタンを選択して、設定を保存する。



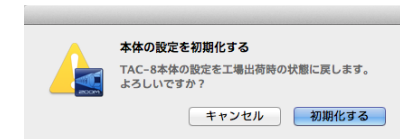
### ■設定の読み込み

1. 保存した設定を読み込む。



### ■FACTORY RESET 本体の設定を初期化する

TAC-8 本体の設定を工場出荷時の状態に戻すには、[FACTORY RESET]ボタンを押し、確認画面で「初期化する」を押します。



TAC-8 MixEfx に保存した設定は初期化されません。

## 設定をファイルに保存する／読み込む (SAVE/LOAD)

### ■設定の保存

1. [ファイル]メニューの[保存]を選択する。

#### NOTE

設定をファイルに保存した後、別名のファイルとして保存する場合は [Save as]を選択します。

2. ファイル名と保存場所を指定して、保存する。

### ■設定の読み込み

1. [ファイル]メニューの[開く...]を選択する。
2. 設定ファイルを選択して、[開く]をクリックする。  
設定が読み込まれます。

#### NOTE

設定ファイルを読み込んで、メモリーに保存している設定の内容は変更されません。

# パワーマネージメント機能を設定する

TAC-8 はSTAND ALONEスイッチをONにした状態で電源ON後、10時間が経過すると自動的に電源が切れます。この機能をTAC-8 MixEfx でON/OFFすることができます。

## ■パワーマネージメント機能を無効にする

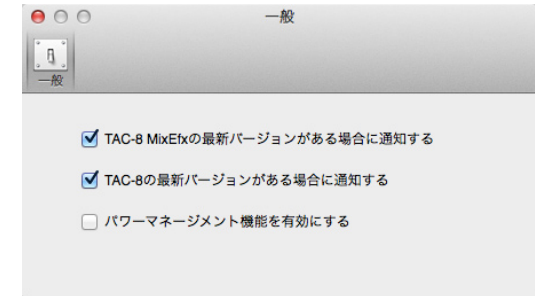
1. メニューバーの「TAC-8 MixEfx」を選択する。



2. 「環境設定...」を選択する。



3. 「パワーマネージメント機能を有効にする」のチェックをはずす。



### HINT

・項目にチェックを入れると、パワーマネージメント機能が有効となります。

# バージョン管理

## ■バージョン情報の表示

1. メニューバーの「TAC-8 MixEfx」を選択する。



2. 「TAC-8 MixEfx について」を選択する。



3. バージョン情報を確認する。



### HINT

・「[Version]」はミキサーアプリ **TAC-8 MixEfx**、「[Device Version]」は **TAC-8** 本体のバージョン表記となります。

## ■バージョンアップデート通知の設定

1. メニューバーの「TAC-8 MixEfx」を選択する。



2. 「環境設定...」を選択する。



3. バージョンアップデート通知の設定を確認する。



### HINT

・チェックが入っている場合、有効となります。

Macintosh® / Mac OS® は、Apple Inc.の商標または登録商標です。  
Thunderbolt™ / Thunderbolt™ロゴは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。  
ADAT / ADAT Optical は 米国 および その 他 の 国 におけるinMusic Brands Inc.の商標です。  
\* 文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

**ZOOM**®

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-4-3 ホームページ <http://www.zoom.co.jp>